

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市陸上競技場		
2 指定管理者	公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団		
3 指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和3年度 136,305人（前年度比 199.4%） ・令和2年度 68,367人 ・令和元年度 243,950人		
	《事業》 ・スポーツ施設管理運営 ・スポーツ振興にかかるスポーツ教室・イベントの開催		
5 収支の状況	《費用》 ・指定管理者に支払った費用 43,364千円（36,065千円） ・その他市が負担した費用 21,966千円（31,339千円） （ ）は前年度決算額		
	《収入》 ・使用料収入 0千円（0千円） ・その他収入 3,507千円（3,273千円）		
6 利用者の声	《実施状況》 ・スポーツ施設利用者アンケートの実施・・・ 令和3年10月11日～令和3年10月31日		

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に基づいた運営方針が確立されており、職員の理解のもとに、施設運営が行われている。	24/24
II 施設の運営管理体制	職員の配置及び開館状況は事業計画に相違なく、経理も適切に処理されている。 また、事故防止に向けた体制を構築し、安全に対する職員間の意識の浸透が概ね図られている。	30/30
III 施設・設備の維持管理	建物の内外及び設備について、安全の確保がなされ、利用者が快適に利用できるような状態を保持している。	23/23
IV サービスの質の向上	職員に対する接遇研修を行い、利用者が気持ちよく施設を利用できるような努力をしており、令和3年度に実施した利用者アンケートでは、概ね満足していただいている結果を得ている。 自主事業の参加者用にオンラインでの受付・決済システムを導入しており、利便性の向上に大きく寄与している。	29/28
V 施設固有の基準	新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、計画通りの事業の実施が難しい状況であったものの、市内唯一の公認陸上競技場としての特性を活かしたスポーツ教室、事業を実施している。 また、指定管理者の負担によるトレーニング室設置は、利用者にとって利便性が増し、施設の効用を増大させる先進的な取り組みであると言える。	3/2

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団）による自己評価》
<p>①施設管理運営</p> <p>施設設備の維持保全・長寿命化等を図るため、日常点検と定期保守点検を行い、不具合の早期発見や予防保全に努めました。競技場内だけでなく公園施設内も巡回を行ったほか、感染症予防のための定期的な消毒も実施するなど、安全安心な利用環境を提供することができました。</p> <p>②設備修繕</p> <p>点検等で発見した不具合については、利用者への影響を検討し、貸出可否の判断や応急処置の実施、専門業者への修繕依頼など手順を踏みながら対応しました。また、修繕については、大規模修繕・中規模修繕・施設修繕などカテゴリーや優先順位を付けるなど計画的な予算執行に努めました。</p> <p>③自主事業</p> <p>仙台市唯一の陸上競技場として、陸上競技種目に特化したイベントや体験会を開催したり、利用率が低い会議室をヨガなどのフィットネスの教室で活用したりするなど、様々な運動プログラムを提供しました。中でも、地域スポーツ団体の協力をいただきながら開催した、障害者を対象にした陸上競技体験会「宮城野原スポーツデー」は、市内の中高校生がボランティアとして参加し、共生スポーツの祭典としてたいへん盛り上がりました。令和3年度も、コロナ禍のため人数制限や臨時休館等が発生し、参加者にはご不便をおかけしましたが、感染症対策をしっかり行いながら事業を実施することができました。</p> <p>④その他</p> <p>令和3年は、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催年でした。当施設は「宮城県聖火リレー」「イタリア陸上競技チームの事前合宿」の2つの関連行事で利用していただきましたが、オリパラ関連事業では施設職員全員が一丸となって成功に向けてバックアップさせていただきました。</p> <p>東京2020大会関連行事への参加をきっかけに、ますますのスポーツの普及振興とレガシーづくりに努めてまいります。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>施設の設置目的に基づいた運営方針が明確に示されており、職員全体として質の高いサービスの提供と業務の効率化、経費節減に努めている。</p> <p>施設の運営管理体制については、職員の配置及び開館状況は事業計画に相違なく、経理も適切に処理されており、事故防止に向けた体制を構築し、安全に対する職員間の意識の浸透が概ね図られている。</p> <p>施設設備の維持管理については、建物の内外及び設備について、安全の確保がなされ、利用者が快適に利用できるような状態を保持している。</p> <p>サービスの質の向上については、職員に対する接遇研修を通じ、利用者が気持ちよく施設を利用できるよう努力をしているほか、自主事業の参加者用にオンラインでの受付・決済システムを導入しており、利便性の向上に大きく寄与している。</p> <p>その他にも、様々なスポーツ教室を開催するなど、市民のスポーツ振興及び普及に寄与している。</p> <p>また、指定管理者の負担によるトレーニング室設置は、利用者にとって利便性が増し、施設の効用を増大させる先進的な取り組みであると言える。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：文化観光局文化スポーツ部スポーツ振興課